

# 南小便り



始業式前日。新 6 年生が入学の準備をしてくれました。

平成 29 年度が始まりました。本年度もよろしくお願いたします。

昨年度最後の学校オープン（1 月 28 日）では、いつものアンケートに加えて、平成 28 年度の学校教育への様々なご意見をいただきました。我が子の成長や課題に関すること、学校行事の活性化について、学校と保護者・地域との連携の大切さなど。読んでいて「なるほど」「そうなのか」と、思うものばかりでした。そして、皆さまの前向きなご意見に元気をいただきました。

また、3 月 10 日には、学校評議員会（河高・高岡区長、河高・高岡民生委員、PTA 会長、校長、教頭）が開かれ、保護者と職員の学校教育への評価や意見をもとに、これからの南小教育への提言をいただきました。平成 29 年度の南小の教育方針を述べる前に、**保護者の皆さまと学校評議員の皆さまからのご意見**をいくつか紹介します。

## <自立>

- ◇子ども二人とも自ら勉強（宿題・チャレンジ）に取り組む姿が見られています。
- ◇（お手伝いなど）自分がやりたいこと、相手がしてほしいようなことを家の中でも意識をして頑張っています。少ししんどいかなと心配することもありますが見守っています。
- ◇うちの子どもは、あまり自分からやるタイプではないので、おいていかれる気がします。
- ◇子どもに寄り添った指導体制で、これからも自立を促す支援をお願いします。
- ◇挨拶はよくしてくれている。幼い児童ほど警戒心が強く、見ず知らずの大人に挨拶をするのは難しいのではないか。
- ◇昇降口の上靴、トイレのスリッパ、机の引き出しの整頓を毎日教師がチェックするとなっているが、できている子どもをほめることも大切である。

## <ともに挑む力>

- ◇自分ですると決めたことは最後までやらせています。それがしんどい事でも頑張ってやっています。きっと力になるでしょう。
- ◇目標を書き出すことで意識力もあがると思います。
- ◇学校だけでなく、地域や家庭でも実践・教育していける共にとり組を考えていければと思います。

## <開かれた学校づくり>

- ◇学校と地域が強く結びつき、様々な角度から子どもたちを育てることは、これからも積極的に行うべきだと思います。
- ◇地域の方や保護者が関わる機会が南小は多いので、開かれていると思います。
- ◇ホームページの更新については、もう少し増やすことが望ましいと考えます。
- ◇高齢者福祉施設マイハウスみのりとの交流があり喜んでおられた。続けてほしい。・・・続く

※アンケートの続きの「家庭での取組」と「平成 29 年度の南小の教育」については、次号で紹介いたします。途中で終わってしまって申し訳ありません。



年度終わり、年度初めとバタバタとした時間を過ごしていました。とても大切な仕事や時間に関わりながら、何か落ち着かない毎日でした。そんなとき、ほっとさせてくれるのが、自然の営みです。夕暮れ時、仕事を終えて学校の玄関を出ると、あの甘酸っぱい春の匂いが辺りに満ち満ちています。朝、学校の駐車場に車を停めて外に出ると、西の林からまだぎこちないウグイスの声が聞こえてきます。春の朝日の中で聞く「ホーホケ・・・」は、まだ少し冷たい春の風をやさしくしてくれます。そういえば、3 月末の朝、校門で「先生、坂の途中で今年初めてウグイスの声を聞いたよ。」と教えてくれた女の子がいました。そんなふうに、自然を楽しみながら、子どもの言葉を喜びながら、南っ子の成長のために、本年度も学校一丸となつてがんばります。そして、地域の皆さまと保護者の皆さまと学校が一丸となりますようよろしくお願いいたします。

